

第2節 その他の機関

1. 作物統計調査事務所試験係

昭和22年に農林省の徳島作物報告事務所の気象感応試験(のち作況試験)が始まり、業務の性格上農業試験場内にその事務所と試験圃場を設置した。当初担当者は種芸部で机を並べていたが、のち農業機械収納室の一部を事務室とした。その後名称を作物統計調査事務所試験係と変え、46年には農業試験場の移転と共に石井町に移り、現在の環境科の研究室に事務室を置いたが、47年4月に試験が廃止となった。

2. 農産加工指導所

農業経営に加工を取り入れる必要から、昭和23年12月に農産加工指導所が設立されたが、設置に適切な場所がなかったため、農事試験場の構内に20坪の建物を新築(旧園芸科の研究室)して発足した。しかし専用の研究室や施設の必要性から24年11月の追加予算で農事試験場内に50坪の建物の建設を決めた。ところがその後の事情によって、練兵場跡の徳島県農業総合指導所の加工部として設置されることに変更、これが完成した25年12月に同所へ移った。

3. 飼肥料検査所

明治43年に設置された肥料検査室は、昭和5年万代町の新庁舎に移ってから昭和20年代まで、県庁3階に分析室を構えていたが、行政庁舎内の実験室は場違いの上に、亜硫酸ガスや水が洩れる事故がおこったことなどから、昭和29年5月に農事試験場の構内に検査施設を新設して移転、37年からは飼料検査も併せて行うことになった。その後試験場の石井町移転に伴い、検査所(農業経済課飼肥料係)も本館3階に分析室を整備して移転、昭和54年から農業改良課所管となって現在に至っている。

4. 農業機械化センター

県下に唯一の農業機械の研修機関として昭和40年7月に藍住町に設置された農業機械化センターは、49年4月に農業試験場の構内に移って、研修本館をはじめ運転練習コース、機械格納庫などが建設された。そして58年4月に行政改革によって農業試験場に統合され機械研修係となった。その沿革、業務内容などについては研修機関の項で詳述した。